

提 供 日 2026/6/2(火)

タイトル 航空機で搬送された重症心疾患患者の治療に成功

担 当 こども病院会計課 内藤

連絡先 こども病院会計課 内藤

TEL 054-247-6251(代表)



～ともにつくる 信頼と安心の医療～

～航空機で搬送された重症心疾患患者への高度な集学治療に成功～

坂本理事長兼こども病院院長、主治医による記者会見を行います

(要旨)

静岡県立こども病院は、北海道から静岡空港へ航空機で搬送された重度の心疾患患者を受入れ、治療に成功しました。

近日中に患者の退院が予定されていることから、今回の治療の内容・経過について、会見を行います。

日 時	2026 年 6 月 3 日 (水) 16 : 00～
会 場	静岡県立こども病院 L棟3階大会議室 (住所：静岡市葵区漆山 860 電話：054-247-6251 (代表))
出席者	理事長兼こども病院院長 坂本喜三郎、不整脈内科医長 芳本潤

1 患者等

- ・ 患者 2歳男児（北海道札幌市在住）
- ・ 疾患 心臓の腫瘍による心室頻拍（不整脈）

2 受入の経緯

- ・ 患者は胎児期から心臓に腫瘍があり、出生後は腫瘍が原因となる心室頻拍を発症し、自宅でもAED（自動除細動器）を用いて心肺蘇生を要する状態であった。
- ・ 北海道立こども病院入院後に抗不整脈薬を中心とした内科的管理を行っていたが、不整脈のコントロールがつかなかった。
- ・ 令和8年5月18日、入院していた北海道立こども病院から静岡県立こども病院へ搬送された。
- ・ 搬送にあたっては、メディカルウイング(※)による航空機で静岡空港まで搬送し、こども病院のドクターカーにより当院へ搬送された。
- ・ 静岡空港を活用した航空機とドクターカーの連携により、安全かつ迅速な搬送を実現した。

3 治療の経過

- ・手術までは頻回の心室頻脈により電氣的除頻脈（電気ショック）で頻脈を止めなければならない状態であったが、5月25日（月）に心臓血管外科、不整脈内科、循環器科が協力し、心臓腫瘍切除、外科的クライオアブレーション、植込み型除細動器植込みを行った。
- ・治療の結果、不整脈は消失し、近日中に北海道立こども病院へ転院予定である。
- ・2歳の心臓疾患患者に対する本件治療の経験を有する施設は、国内では極めて限られている。
- ・静岡空港を経由する当院への患者搬送は2回目である。搬送中の処置で電気ショックの可能性があるため公共交通機関での搬送は行えず、ヘリコプターも距離の問題があるが、県内に空港があることでジェット機とドクターカーの連携による搬送を行うことができた。

※ メディカルウイング

北海道航空医療ネットワーク研究会が北海道からの委託を受けて運航する固定翼による患者搬送事業 (<https://www.hokkaido.med.or.jp/hamn/>)